

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2000年(平成12年)5月15日 No. 1158

目次

ロシア自動車産業の現状①	坂口 泉 1
グルジア大統領選挙の確定投票結果	11
CIS諸国通貨の最新為替レート	11

ロシア自動車産業の現状①

—乗用車市場における動きを中心に—

はじめに 自動車というのは、ロシア国民にとって最大の関心事のひとつのようで、ロシアの新聞・雑誌には、関連記事が頻繁に掲載される。このため、かなり貴重な数字も、比較的簡単に入手することができる。

今回は、ロシアの新聞・雑誌から得られた自動車の生産、乗用車の販売等に関するデータや、国産メーカーの戦略、外国企業による現地生産プロジェクトの進捗状況に関する情報を中心に、ロシアの自動車産業の現状を紹介する。

1. 自動車生産の状況

1993～1999年のロシアのメーカー別の乗用車、貨物自動車、バスの生産量は第1～3表のとおりである。

乗用車の場合(第1表)、AVTOVAZの生産量が突出しており、ロシアの乗用車の全生産量に占めるシェアは1995年以降つねに7割を超えている。ただ、この企業は、巨額の債務負担に慢性的に苦しんでおり、外的環境の変化に迅速に対応しうるほどの体力はないとの印象が強い。たとえば、1998年の前半は、安い外国車におされ極度の販売不振に苦しみ、一部には、AVTOVAZの存続を危ぶむ声さえでていた。1998年夏のルーブル大幅切り下げが追い風となり(国産車のドル建ての価格が大幅に下がり、安い外国車との間の価格差が広がった)